

平成 26 年度第 1 回 ISO/TC46/SC8 国内委員会  
議事録

1 . 日時：平成 26 年 7 月 14 日（月） 10 時 00 分-12 時 10 分

2 . 場所：文京区シビックセンター 4 階 会議室 A

3 . 出席者： 委員 永田 治樹 立教大学（SC8 リーダ）  
鈴木 加奈子 立教大学  
橋本 貴之 国立国会図書館  
小泉 史子 公益社団法人日本図書館協会  
菅野 朋子 東京大学  
戸田 あきら 文教大学  
有田 寛之 国立科学博物館

事務局 光富 健一 一般社団法人情報科学技術協会

4 . 配布資料：『平成 26 年度第 1 回 ISO/TC46/SC8 国内委員会』  
「平成 26 年度第 1 回 TC46/SC8 委員会出欠表(2014/07/14)」  
「平成 25 年度第 2 回 ISO/TC46/SC8 国内委員会議事録」  
（資料 1）「平成 26 年度ニーズ（安全・安心）・国際幹事等輩出分野に係る  
国際標準化活動実施計画書（テーマ名：情報とドキュメンテー  
ションに関する国際標準化（フォローアップ）」  
（資料 2）「2013/12/9 以降 ISO/TC46 投票済案件と審議案件」  
『JIS X0814』（第 1 次訳出案）  
『TC46/SC8 総会 会議報告（橋詰秋子）』

5 . 議事

永田リーダーにより議事を進行。  
先回議事録の確認を行い、それを承認した。

5-1) 平成 26 年度実施計画について（資料 1，資料 2）

永田リーダーから資料に基づき説明があった。

資料の訂正（別添）「規格要約票」中国際規格名称欄の記述内容  
誤：国際図書館識別子  
正：国際図書館資料識別子

## 5-2) 本委員会 (SC8) の平成 26 年度計画について

永田リーダから次の提案があり，了承した。

< 提案内容 >

- ISO 図書館関係規格のキャッチアップ (JIS 規格整備)
  - ・ JIS X0814 (図書館統計) の改訂  
現在作業中。平成 26 年秋には確定させたい。 JIS の改訂時期は平成 27 年度になるだろう。
  - ・ JIS X0812 (パフォーマンス指標) の改訂
  - ・ ISO16439 (成果指標) の JIS 化  
以上二つについて，秋以降に取り掛かりたい。
- 博物館統計 (WG11)，アーカイブス統計(WG12)のフォローと対応  
ISO で動きがあり，情報の把握及び対応を進める。WG12 対応のため，新しいメンバーが必要になる。
- JIS 改訂作業のために，今年度は，7 月，2 月に加え，秋にも 1 度会議を開く可能性がある。

## 5-3)JIS X0814 改訂の検討

< 会議で出された問題点あるいは要検討点 >

旧 2 「引用規格」( Normative references ) が ISO 規格ではないが，JIS ではどうするかを検討する。 連番の降り方

2.1.1 academic library 「大学図書館」は「学術図書館」の方が良い。

2.1.2 注記 2 single を「一つの」は「単独の」が良いだろう。

2.1.5 注記 2 no print collection 「印刷資料」ではなく，コレクションがポイント。

2.1.9 注記 1 JIS 案が箇条書きから文章に変更となっている。「次の」というのならば，箇条書きを想定する。

注記 2 現 JIS 通りだが誤訳？(これでは注記の意味がない)。例：「この「国立図書館」の定義は，1 国に 2 以上の国立図書館があることを許容する。」

2.1.10 local 「地方」としているが日本語としては意味的に regional の地域より狭い。むしろ「地域又は地方」と逆にした方がよい。以下同じ。

open to the public の訳は正確に挿入する。

2.2.2 underrate 「過小評価する」

only manageable 「唯一扱いやすい」

2.2.4 注記 1 例：「情報は，サイト所有者によって書かれたり収集されたりすることもあるれば利用者によって投稿されることもある。」

2.2.5 blog post 定義を含め要検討

- 2.2.8 本文の「電子的図書館サービス」の「電子的」は削除して「図書館サービス」  
Mobile device をなんと訳すか。意味的にはタブレット PC をイメージしている。「モ  
ーバイルデバイス」か「モバイル機器」  
Interactive service 「対話型サービス」
- 2.2.9 「文化，教育・・・」は，それぞれ「文化的，教育的・・・」と「的」を付けた方  
がよい。  
literary discussion 文学的，あるいは文芸的  
partnership と cooperation 両方「連携」と訳すのはいかがなものか？
- 2.2.13 directional 「案内」 administrative 「運営上の」「運営に関する」  
注記 2 personally 「直接」「直に」
- 2.2.19 「更新は含まない，しかし，分けて数えてもよい。」
- 2.2.20 computing device をなんと訳すか？「電子」ではない。「計算機器」
- 2.2.23 podcast 説明本文をどのように訳すか。  
注記 2 browsable 「閲覧」はまずいのでは？「ブラウズできる」？
- 2.2.26 注記 2 instruction 「教育」「指導」？
- 2.2.28 should の訳し方 「することが望ましい。」(定型)
- 2.2.33 establish 「開設」？「設定」？  
例：「利用者が，個人又は組織のプロファイルを設定し，他の人々とコミュニケーション，協働，及び/又はコンテンツを共有することを目的として他の個人と接触  
するように構成されている電子的サービス」？
- 2.2.35 target population with special needs [  
例：「特別な図書館サービスを必要とする，サービス対象である図書館利用者の一部  
分」
- 2.2.38 「催物」 「催し物」(「し」をいれる。)
- 2.2.38 electronic format 「電子形態」(2.3.7 も) 旧版による
- 2.2.41 content の訳 「コンテンツ」で統一するか
- 2.3.5 electronic form 「電子的形式」か
- 2.3.11 「集められる。。。集団」？
- 2.3.26 e-print 「電子出版物」ではなく「eプリント」
- 2.3.28 注記 5 involve 「関わっている」  
should の訳し方
- 2.3.34 national collection 「国有」というと所有権がある意となる。これはそうではない。  
これまでは「全国書誌」のように「全国」といつている場合もある。「ナショナル・コレク  
ション」という手もある。
- 2.3.37 community は，「自治体」と限らない。「地域団体」か「コミュニティ」か  
initiative はなんと訳すか。先導的な計画やプロジェクトのことかな。

2.3.39 scholarship は「学問」と訳し分けるか？

以上で時間切れ。

< 提案と確認 >

- 用語の定義の部分について，担当委員を決め，見直していただく。（8月15日頃まで）
- 他の部分は，上記を見てそれぞれ見直し，9月初旬までに再提出する。

以上について確認した。